

令和6年8月1日

[令和6年度 県立上溝高等学校 第1回学校説明会]

神奈川県立上溝高等学校
校長 内田 勝久

学校長あいさつ

- ご参加の中学校生徒の皆さんならびに保護者の皆さま、おはようございます。県立上溝高等学校 校長の内田でございます。
- 本日は、朝から、上溝高等学校の第1回学校説明会にご参加いただき、ありがとうございます。
- まず、開式に先立ちまして、本校放送部の生徒が作成した部活動紹介の映像と、ダンス部生徒による演技をご覧いただきました。いかがでしたでしょうか。
- 本校自慢の生徒たちです。
- 学校の概要については、お手元に配布いたしました「令和6年度 学校案内」のパンフレットをご覧ください。[\(学校案内のパンフレットを見せながら\)](#)
- 学校の設置は、明治44年(1911年)5月です。歴史のある県立高等学校となります。
- 今年度、4月5日に第79回入学式を行い、79期生6クラス243名の新入生を迎えました。
- 来年度の入学生は、80期生になります。
- 各学年6クラス、全部で18学級。700名の生徒が在籍しています。
- ・全日制、普通科。
 - ・3学期制。授業は、1コマ55分で、一般的な50分授業より、生徒さんの活動等に余裕を持って取り組んでいただけるのも大きな特色です。
- さて、生徒は「宝」、職員(先生方)は「県の大切な人財」と意識し、学校経営をしています。
- ①「宝」である生徒へは、「さん」付けで呼んでほしい、ということ。
- 呼び捨てではない、ということです。
- 性差を意識せず、すべて「さん」で呼びます。
- そうは、いっても依然として呼び捨てにする場面もありますが、すこしずつ改善しています。
- 身近な人権の意識を高める面からも、人を呼び捨てにすることは、あるべきことではないと思います。
- ②職員は、大切な人財ですが、本当に上溝高校にはすばらしい先生方が揃っています。
- そして「わかりやすい授業」をしてくださいということもお願いしていますし、実践されています。
- また、日ごろの教育活動を通じて、生徒を「誉めて育てる」ということも実践しています。
- 誉められることで、人は成長します。自信がつかます。三年間で、自己有用感・肯定感を伸ばしてあげたい。
- 今後、実際に、本校の見学もしていただきたいのですが、教室では、
- ・すっきりと天井に埋め込まれた、換気扇と空調機器。
 - ・上下に可動する、方眼のマス目がはいた見やすい黒板。蛍光チョーク。
 - ・全教室に備え付けのプロジェクターとスクリーン、大型モニター。
 - ・「生徒一人一台端末」を使用しての授業が円滑に進められるようなWi-Fi環境。
- また、体育館は耐震、補強工事が済んでいます。床はとてもきれいです。
- 今年度中に、武道場、体育館、グラウンドの照明がすべてより明るく活動しやすいLEDになります。

○今日の学校説明会で、本校により一層、興味を持たれた方は、ぜひ、今後、上溝高校で実施される説明会やオープンスクールにも参加いただきたい、とお願いします。

進路選びは、とても大切です。

本校は、全日制・普通科です。課程には、全日制の他に定時制や通信制があります。

定時制には夕方から始まる夜間の定時制以外、相模向陽館高等学校のような午前から始まる定時制、

昼から始まる定時制もあります。

さまざまなタイプの学校がありますので、興味のある学校は必ず見学をしていただきたい。

○上溝高等学校に入学してよかった。3年後に、卒業してよかった、とっていただけるよう、これからも学校の魅力を高めながら、本日お見えの皆さま方のお越しを心よりお待ちしております。

以 上